

オゾンハンドブック

発刊の主旨

本オゾンハンドブックは、オゾン処理技術があらゆる生活場において、安心と安全を提供できる主要な技術の一つであり、かつ現実に実用可能な技術であることを、社会により広く理解していただくために、最新技術の集大成を学識経験者、企業の技術者の協力を得て企画、編集されたものです。

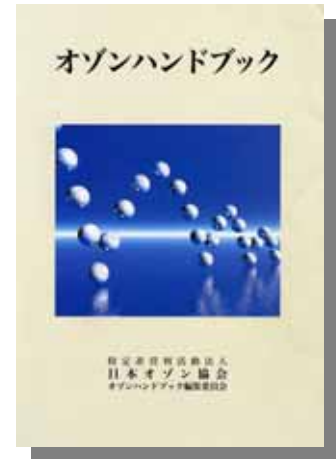
本書の内容

オゾン処理は今日、非常に幅広い分野で応用されていますが、オゾンの発生装置や測定装置、あるいは反応装置に関する公的な基準はほとんどありません。特定非営利活動法人日本オゾン協会の活動の中で先進的に進められた各種基準や規格を例示し、それらの一般化をはかるための努力の一環として最新技術の総括を試みたものです。

本書は、オゾン技術の現状を、世界レベルで概観し、記述するとともに、前半部でオゾンそのものの物性や酸化特性に関する基礎情報を整理し、後半では応用分野ごとの詳細な適用法・設計法についてそれぞれ専門分野ごとに平易に技術を記述しています。

特徴

- オゾンの歴史、基礎から利用まで、オゾンに関する幅広い分野を網羅
- 当該分野を代表する執筆陣
- 最新のデータを記載
- ハンディで使いやすい大きさと装丁



構成

歴史と展望編	
第1章	わが国におけるオゾン利用の歴史と展望
第2章	米国におけるオゾン技術の発展
第3章	西欧の飲料水処理におけるオゾン応用
基礎編	
第4章	オゾンの性質
第5章	オゾンの反応特性
第6章	動物・人体に対する影響と安全基準
第7章	オゾン測定法
第8章	オゾン発生方法
第9章	反応槽特性
応用編	
第10章	オゾン発生装置
第11章	反応装置
第12章	排オゾン処理装置
第13章	オゾン処理システムの計測と制御
第14章	オゾン利用各論 水処理への利用
第15章	オゾン利用各論 気体としての利用
第16章	オゾン利用各論 生産プロセスでの利用
第17章	オゾン利用各論 促進酸化での利用
第18章	オゾン利用各論 新しい用途
第19章	オゾン利用各論 その他の利用法
第20章	オゾンに関する取扱い安全基準
第21章	オゾン処理設備の基本設計指針
第22章	オゾン耐食材料

体裁

B5判一段組み、
本文 403 ページ

定価

¥9,800

執筆者 (アイウエオ順、敬称略)

石岡久道、石田稔郎、伊藤泰郎、猪原哲、岩尾充、江口武芳、江口正浩、江崎徳光、大澤法喜、男成妥夫、釜瀬幸広、岸野宏、久川義隆、葛本昌樹、河野孝、小阪教由、小坂浩司、近藤泰正、坂田芳治、佐々木智彦、佐藤三郎、沢井賢司、神力就子、杉光英俊、鈴木孝久、宗宮功、高瀬格、高田芳昭、高橋信行、高橋亮二、高原博文、竹田静雄、竹見健、谷村泰宏、辻猛志、津野洋、寺尾康、富家和男、内藤茂三、長瀬俊哉、中室克彦、日本オゾン協会、林信哉、林田英麗、二ツ木高志、古川誠司、星川寛、松永直利、松本みどり、峯岸寅太郎、三谷紀行、茂庭竹生、安井英斉、山田春美、山部長兵衛、山本志野歩、四元初男、Gibert Gordon、Rip G.Rice、Joop C. Kruitthof

<お申込み方法>

購入申込書を、E-Mail、FAXまたは郵便にて下記宛お送りください。
オゾンハンドブック注文部数とともに請求書を同封いたします。
なお、別途送料がかかりますのでご了承ください。

特定非営利活動法人 日本オゾン協会 事務局
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-3-19 芳明ビル 8 階
TEL 03-3583-5210 FAX 03-3583-1461 E-Mail joa@mwd.biglobe.ne.jp

お知らせ

日本オゾン協会発行のオゾンハンドブックにおいて、下記執筆者の登録、記載漏れがありましたので、お知らせします。

p.2 「オゾンハンドブック執筆者一覧」 応用編 第11章
Brahim Messaoudi 三菱電機株式会社

平成17年6月

三菱電機株式会社